

2018 春季生活闘争ファイティングフォーラムを開催！ クラシノソコアゲ応援団！

◎ 2018 春季生活闘争ファイティングフォーラム

- ・と き：2018年3月8日（木）18：00～
- ・と ころ：秋田テルサ（秋田市御所野）・参加者：200人



◎ 主催者挨拶：連合秋田・黒崎 保樹 会長



2018 春季生活闘争の状況について「中央大手は、3月14日のヤマ場での決着に向け交渉を強化しているが、経営側は一律の賃上げに難色を示し、一時金も含めた年間ベースでの改善を主張しており、厳しい状況となっている。県内企業においては、『働き方改革』の推進も、業務改善、人材投資を行わず、単に時間外労働を削減する等、コストカットのみを考える動きにある。構成組織においては、交渉の中で、賃金の引き上げと合わせ、企業・職場環境に合った働き方を求める行動を展開していただきたい。すべての働く者の処遇改善となるよう、最後まで共にがんばろう。」と挨拶した。

◎ 労働局長挨拶：連合秋田・秋葉 宏 労働局長

「今年の春季生活闘争は、今やなくていつやるのかという環境にある。人口減少、労働力不足が深刻な状況にある中、賃上げ無くして優秀な人材を確保することは難しい。中小企業は、将来を見据えた判断を迫られる大変重要な局面にある。これまで以上に、安易に引かない・妥協しない姿勢で交渉に臨んでいただきたい。このファイティングフォーラムを契機に、一層団結を高めていただきたい。」と挨拶した。



◎ 提起：「連合秋田2018 春季生活闘争について」



連合秋田
藤井 真悟 事務局長

「連合は、【すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！『底上げ・底支え』『格差是正』でクラシノソコアゲ！】を2018 春季生活闘争のスローガンに掲げている。2月の地方委員会では、地場・中小を含めた賃金底上げ目安として10,600円を確認した。3月8日現在の要求提出状況は、4つの構成組織58組合、単純平均で8,240円となっている。また、すべての働く者の雇用の確保と賃金の底上げ・底支え、労働条件改善および格差是正について、3月12日に経済5団体、秋田労働局、翌13日には秋田県への春闘要請を予定している。今後も各地域で様々な取り組みが行われるので、積極的な参加をお願いしたい。連合秋田としても、地域の中小共闘センター会議に参画し、情報共有と共闘体制の強化をはかって行く。」と報告した。

○ 2018 春季生活闘争構成組織決意表明

構成組織を代表して、ものづくり産業の立場から電機連合秋田地域協議会の天野義孝議長、公務職場の立場から秋田県教職員組合の伊藤明宏書記長より、2018 春季生活闘争に臨んでの状況報告と力強い決意表明をいただいた。



電機連合秋田地域協議会
天野 義孝 議長



秋田県教職員組合
伊藤 明宏 書記長

○ アピール採択、団結がんばろう！

連合秋田中央地域協議会の藤原和功副事務局長より「『働くことを軸とする安心社会』を実現するために汗をかき、2018 春季生活闘争勝利に向けて、闘いのうねりを職場や地域に拡大して行こう。」とするアピールが提案され、満場の拍手で採択された。

最後に中央地域協議会・水木卓議長の「団結がんばろう！」で勝利に向け取り組むことを確認した。



中央地域協議会
藤原 和功 副事務局長



アピールを採択！



中央地域協議会
水木 卓 議長

◎ 2018 春季生活闘争秋田県第1次統一行動

☆各地域集会開催状況 全県で500名の仲間が結集！

連合秋田	3月8日(木) 18:00	秋田テルサ	200名参加
中央地協	「2018 春季生活闘争ファイティングフォーラム」		
大館地協	3月8日(木) 18:00	大館労働福祉会館	40名参加
鹿角地連	3月8日(木) 18:00	鹿角労働福祉会館	18名参加
能代地協	3月8日(木) 18:30	能代中央公民館	26名参加
男鹿地連	3月8日(木) 18:30	男鹿地連事務所	11名参加
本荘地協	3月8日(木) 18:00	本荘由利労働会館	47名参加
大曲地協	3月8日(木) 18:30	仙北教育会館	45名参加
横手湯沢地協	3月8日(木) 18:30	サンサン横手	118名参加

「3. 8国際女性デー」街宣行動を展開!

3月8日(木)秋田市駅前大屋根下(フォンテAKITA、アゴラ広場前)において、女性委員会と構成組織組合員合わせて18名のご協力をいただき、「3. 8国際女性デー」の取り組みとして街宣行動・カーネーションの花を配布しました。用意した800本のカーネーションは、1時間を経たずして配布を終了するなど好評の取り組みでした。

「3. 8国際女性デー」の起源は、今から約160年前の1857年にニューヨークで起きた工場火災で多くの女性たちが亡くなったことに端を発して低賃金・長時間労働に抗議する集会が3月8日に開かれました。その後、この日は女性たちの政治的自由と平等のために闘う記念日と位置づけられるようになり、1975年以来、国連の「国際女性デー」として賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。連合も1996年から、春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけて、全国の仲間とともにこの行動に取り組んでいます。

なお、同日開催の2018春季生活闘争ファイティングフォーラムで「3. 8国際女性デー」に関するアピールを女性委員会の今野悦子副委員長が提案を行い、満場の拍手で採択されました。また、閉会後に女性委員会より参加者へ200本のカーネーションを配布しました。



官民を超えた連携を

「2018春闘勝利! 連合秋田・秋田県公務労協学習交流会」

2月20日(火)秋田県教育会館において、連合秋田・秋田県公務労協共催の「2018春闘勝利! 学習交流会」が開催され、組合員約80名が出席した。連合秋田を代表して黒崎保樹会長は「今春季生活闘争も官民一体となった闘いを展開したい。」と挨拶した。学習会では、中央公務労協副事務局長の森永栄氏の中央情勢報告の後、一橋大学フェアレイバー研究教育センターの高須裕彦氏より「新自由主義と闘う米国労働運動が示唆するもの〜地域連携・共闘の強化と社会運動的労働運動を〜」と題し、ご講演頂いた。

「2018春闘勝利! 秋田県公務労協総決起集会」

3月13日(火)秋田市役所分館前において、秋田県公務労協主催の「2018春闘勝利! 秋田県公務労協総決起集会」が開催され、組合員約150名が参加した。小川純代表のあいさつの後、伊藤明宏事務局長より情勢報告、運輸労連・妹尾力書記長、全水道・川辺正樹委員長が決意表明を行い、櫻田俊行代表の団結ガンバローで集会をしめくくった。

